

1

6月28日に中学校英語教育研修を開催しました

6月28日、文部科学省初等中等教育局 山田誠志教科調査官を講師に迎え、中学校英語教育研修を開催しました。オンラインで120名を超える参加がありました。

山田教科調査官の講義「新学習指導要領における指導と評価」について、そのポイントとなるキーワードを紹介します。（今回は「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」に絞ってお話いただきました。）

詳しくはこちら

①3つの観点は同時に評価することができる

新学習指導要領では、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価することとなりました。それぞれの観点について、どのような場面で評価するかということについて説明がありました。「知識・技能」は英語使用の正確さを、「思考・判断・表現」は目的・場面・状況に応じた表現内容の適切さを、

「主体的に学習に取り組む態度」は言語活動で表出された態度で評価します。3観点の評価は、別々の言語活動ではなく、一度の言語活動で、3観点それぞれの視点をもとに評価をすることができます。



詳しくはこちら

②例文を見ずに取り組ませる

外国語教育はこう変わる！

文部科学省

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>



言語活動に取り組ませる前に、例文を与えすぎていませんか。例えば、友達の紹介をする活動で、

①年齢 (She's thirteen years old.) ②住んでいる

場所 (She lives in Midori 2-chome.)…など、一部分を変えれば完成するような例文をもとに活動をして、生徒が理解できたのか分かりにくさがあります。例文を示すのではなく、言語の使用場面（例：あなたの家に友達が遊びに来ました。家族にその友達を紹介しましょう）を設定し、生徒自身が、何を話すか、そのためにどのような言語材料を使うかの両方を考えられるようにしましょう。もちろん、一度の活動でできるようにはなりませんので、授業で繰り返しその活動に取り組みましょう。教材研究の時には、言語材料、題材ともに単元ゴールとなる最後のアクティビティを確認することが必要です。

③教科書1ページに複数の言語材料があるときの対応

教科書1ページに複数の言語材料が取り上げられているとき、1つずつに時間をかけて指導することは時間的に難しくなります。その場合の対応としては、どれか1つの言語材料に

しぼり、他の言語材料は、①次の時間の帯活動に含め単元最後に確認する、②本文内容を理解させながら指導していく、などの方法があります。

最後に山田教科調査官から、「今までの英語教育は、『知っているけど使えない』状態が続いてきました。その状態を断ち切り、『知っているし、中学生なりに使える』にするのは今です。」とのメッセージがありました。そのためには、②で説明したように、生徒が自分自身で考え表現する活動に、日々取り組むことが大切になります。その言語材料がどのような場面で使用されるか、ということを丁寧に考えるようにしましょう。

例：Where is the library ? の授業

「図書館の場所を尋ねよう」

Where を使うのは、どんな時だろう？

→「初めて訪れた場所で、そこに住んでいる人に自分が行きたい場所を聞こう」



2

研修会に nextchannel の有効活用を！

みなさんは、文部科学省が配信している教員対象の英語教育に係る動画（nextchannel）を御覧になったことはありますか？現在（6月末時点）、53本の動画が掲載されています。これらは、御自身の研修に活用してもらうほか、学校や地域の研修の活用も目的としています。では、どのように活用すると、より充実した研修になるのでしょうか。その一例を紹介します。



この研修は、ある自治体の実践例です。「Small Talk を行いましょう」というだけや、説明だけではわからないということがあり、動画を活用しています。そして、その動画を視聴する際は、ただ「動画を見てください」というのではなく、「自分の実践と比較してください」という投げかけをしています。「何を見せるか」ということとともに、「どのように見せるか」という工夫がされています。研修の感想には、「Small Talk を行ってはいたが、自分のイメージだけでとりあえず行っていたので、こんなやり方があるとは目から鱗だった」という意見がありました。

自己研鑽や校内研修、校区内の研修等の手立ての1つとして動画を活用するとともに、動画を活用する際は、課題を焦点化し、ねらいに合わせて動画を選択し、動画視聴前後の工夫を行う等、効果的に活用し、授業改善、英語教育の充実につなげることができます。ぜひ、参考にしてください。